

農薬飛散動態把握のために調査を行う対象農薬の選定方法及び測定項目について

平成22年10月26日

1 物理的・化学的性状測定

(1) 対象農薬の選定方法

無人ヘリコプター散布で使用実績が多く、蒸気圧が比較的高い農薬を対象とする。本年度の測定対象農薬は、ジノテフラン及びフェニトロチオンとする。

(2) 測定方法及び測定項目

3 温度条件(10℃、20℃、30℃)において、蒸気圧、水溶解度及びオクタノール/水分配係数について測定する。OECD テストガイドライン 104(蒸気圧)、105(水溶解度)及び 107(オクタノール/水分配係数)に準拠し測定を行う。

2 粒径分布測定

(1) 対象農薬の選定方法

無人ヘリコプター散布で使用実績が多い農薬を対象とする。本年度の測定対象農薬は以下を予定している。

【殺虫剤】ジノテフラン、エトフェンプロックス、クロチアニジン、シラフルオフェン、ブプロフェジン、テブフェノジド、エチプロール、フェニトロチオン、フェノブカルブ、

【殺菌剤】フサライド、カスガマイシン、トリシクラゾール、アゾキシストロビン、バリダマイシン、ジクロメジン、フルトラニル、ペンシクロン、ジクロシメット、フェノキサニル、チオファネートメチル、メプロニル、イソプロチオラン

(2) 測定方法及び測定項目

圧力型ノズル(噴霧圧:0.44 MPa)を用いて農薬を噴霧し、ノズルから噴霧された時点の農薬の粒径分布及び噴霧された粒子の速度について測定する。

【殺菌剤】

平成20年度 無人ヘリ防除(水稲)における殺菌剤の使用実績

順位	成分名	系統名	使用実績 (1000ha)
1	フサライド	メラニン生合成阻害剤	161
2	フェリムゾン	その他の合成抗菌剤	65
3	カスガマイシン	抗生物質殺菌剤	61
4	トリシクラゾール	メラニン生合成阻害剤	35
5	アゾキシストロビン	メトキシアクリレート系阻害剤	24
6	バリダマイシン	抗生物質殺菌剤	22
7	ジクロメジン	その他の合成抗菌剤	20
8	フルトラニル	酸アミド系殺菌剤	19
9	ペンシクロン	尿素系殺菌剤	12
10	ジクロシメット	メラニン生合成阻害剤	12
11	プロペナゾール	その他の合成抗菌剤	2
12	フェノキサニル	メラニン生合成阻害剤	2
13	チオファネートメチル	ベンゾイミダゾール系殺菌剤	1
14	ピロキロン	メラニン生合成阻害剤	0.4
15	メプロニル	酸アミド系殺菌剤	0.4
16	イソプロチオラン	ジチオラン系殺菌剤	0.07

【殺虫剤】

平成20年度 無人ヘリ防除(水稲)における殺虫剤の使用実績

順位	成分名	系統名	使用実績 (1000ha)
1	ジノテフラン	ネオニコチノイド系殺虫剤	123
2	エトフェンプロックス	ピレスロイド系殺虫剤	73
3	クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	65
4	シラフルオフェン	ピレスロイド系殺虫剤	22
5	ブプロフェジン	昆虫成長制御剤	20
6	テブフェノジド	昆虫成長制御剤	19
7	エチプロール	フェニルピラゾール系殺虫剤	13
8	MEP	有機リン系殺虫剤	7
9	クロマフェノジド	昆虫成長制御剤	3
10	BPMC	カーバメート系殺虫剤	0.03